

## 健康生きがい学会第6回大会・特別部会

「健康生きがいコーディネーターづくり」アドバイザーの取組みを通して

北海道協議会 渡邊一栄

1.協議会として、ブロック化の推進に対し、何を期待するか？

①養成講座の講義だけでは十分ではないので、協議会内はもちろんのことブロック間でもフォローアップ研修を開催、継続していくことが必要です。さらにブロック内での協議会相互の情報交換または共有や交流を積極的に行う。

②講師をブロック内で派遣し、養成講座の開催を相互サポートし、ADの拡大推進にも繋げる。

2.MLの活用ほかブロック単位の情報交信のあり方

① ブロック会議の開催

3.健康生きがいづくりコーディネーターとしてADが活動する場合に各ブロックが果たす役割

①100歳大学

運営をサポートするシステムの構築(マニュアル化し、スタッフ養成)

各市町村にある既存の高齢者大学等に比べ講座内容が充実しているため、大学院的な位置になるのでは。

② フレイル予防対策の推進に伴う行政との協働のあり方

○商品としての営業

会場 健康づくりセンターとの協働